

ソフト事業のみ
 ハード事業を含む

成果指標設定調査書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 4 年度

市町村名	三芳町			
提案事業名	みよしSDG推進事業			
事業期間	4 年度	～	4 年度	
事業の必要性、目的	<p>三芳町では、令和元年度に「みよしSDGs宣言」を発出し、町の総合計画などにもSDGsの観点を含め、展示や勉強会などでSDGsの普及を図ってきたところではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実生活に合わせた「自分事」としての活動に発展させられていない。また、町の魅力のひとつである日本農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の自然と共生する伝統的な農法は、環境の世紀における21世紀においては先進事例であり、その考え方は持続可能なまちづくりにも活かすことができる。このことから、市民を含む三芳町政策研究所にて、みどりあふれる持続可能なまちづくりを研究し、まちづくりの基本理念の一つとなるように町へ政策提言を行う。また、前述の研究を進めるうえで、実生活に結び付いたSDGsに関する事業に取り組むことでさらに関心を深め、自分たちが住むまちの持続性・繋がり・魅力などを再確認し、いつまでも住み続けたいまちづくりを推進する。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標)			
	三芳町政策研究所Facebookページへの投稿数および投稿ページへのリーチ数			
	(成果検証の具体的な方法)			
	三芳町政策研究所にて研究内容やその取り組みを投稿し、持続可能なまちづくりの関心度をページリーチ数で計ることとする。			
	(上記の指標を設定した理由)			
	政策研究に対する関心を高め、SDGsへの関心度をFacebookページにより数値化できるため。			
(成果の目標値)				
	現状値 (4年3月現在)	47投稿 3688リーチ数 (2019.5～2021.11まで)	目標値 (5年3月時点)	70投稿 4000リーチ数
(施設建設等の場合)				
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
	住民への公表方法及び特記事項	町ホームページにて公表		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和4年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① みよしフォレストシティ研究事業	ソフト Facebookページに研究内容や取り組みを定期的に掲載することにより、自然と共生する持続可能なまちづくりについて関心を深め、情報収集や双方向での交流を深めることができる。	2,304
② 体験型みよしSDGs推進事業	ソフト 体験型事業を通じて「わたしのSDGs宣言」を行い、体験と宣言をリンクしながら紹介することで、自分にできるSDGsを見つけ出し、継続して取り組むことができる。	552
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		2,856

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	Facebookページを常時更新していくことで情報発信力を高め、政策研究所の活動やSDGsへのへの関心を得ることとする。また、募集チラシ等様々な媒体において本ページを周知することにより、SDGsへの認知や関心にも繋げていく。
成果指標の達成見込み	上記取組を通じて周知を図っていくことにより、達成は十分に可能と考えられる。